



橋本 真由美 議員
(清流会・かさいを育む会)

ハラスメント撲滅 市民目線の行政改革を目指す



受けて特に気をつけていると思います。非常に今ブームという中で、注視していかなければならない。やはり継続的に毎年、研修も行っていくと同時に、個々がしっかりと自己研さんを進めていくことが非常に重要だと思います。

す。何があったのかよく聞き取りも行い、内部でよく話し合いたいと思います。

問 ハラスメントに対する市長の意識の変化は。

答 (市長) 日頃からコミュニケーションを取り、風通しのよい組織をつくれれば、何らそういう問題は生じないはずで、非常に重要だと思いますので、常に自分を見つめ直し、様々な意見を聞いて、注視していかないとはいえないと思っています。

問 市役所内のハラスメントは解決してきていると考えるか。

答 (市長) 今いろいろ話題になっており、職員は研修も

問 研修後のハラスメント事案は。

答 令和5年度の研修以降、相談窓口へのハラスメントに関する相談は3件でした。

問 市役所内でのハラスメント事案(情報提供の件)について。

答 市民の皆様の前でどなりつけるというようなことは決してあってはいけないと思います。市民の皆様のための市役所ですから、委縮して来られるようなことがあってはならないと思いま

問 全職員へのアンケート調査は。

答 アンケートを実施する予定はありません。

問 ハラスメント委員会として第三者や専門家の委員が必要ではないか。

答 現在のところ外部委員を入れる予定はありません。

要望 ハラスメント相談窓口の体制を変更するとともに、アンケートを実施し、第三者委員会も含めハラスメント問題に早急に取り組んでいただきたい。しっかりとしたビジョンを持ち、本当に今、市民にとって何が必要かを共に考えていく、市民目線を重視した行政であってほしい。



佐伯 欣子 議員
(清流会・かさいを育む会)

新規大型建設事業と整備事業の考え方と進捗



ト結果を分析し、市民ニーズに合った、また市外からも来ていただける施設として構想・計画を策定したいと考えます。

答 母子保健と児童福祉の充実はもちろん、市民の利便性向上、職場環境の改善など積年の課題を解決しようとしています。

問 総合運動公園、特に陸上競技場の必要性について。

答 総合運動公園基本構想・基本計画の策定に当たり、一般市民やスポーツ団体、中学生等2,000名に対し、総合運動公園整備において大切な視点や機能、場所などについてアンケートを実施しています。ただし、総合運動公園の必要性については項目に含んでいません。また、地域の利便性や整備費用を比較して最適な場所を選定したいと考えていますが、体育館と陸上競技場が分散する可能性もあります。今後はアンケー

問 庁舎増築は、しっかり取り組んだとはいえない基本計画でもって提案されたと感じている。市長はこの方法が本当によいと思われるのか。今後も事業については同じやり方をされるのか。

答 (市長) 庁舎増築は市民の利便性の向上、業務の効率化を何より優先しています。事業実施に当たって財政破綻が起これば元も子もないので、財政収支見通しを注視して優先順位を考え判断します。

問 今は財源があるため事業を実施しているが、人口減少や様々な社会現象が起きている中で、地道にしっかりと段階を踏むべきではないか。なぜ市長は急がれるのか。

答 (市長) 手遅れになれば元も子もなくなりますので、必要に応じて判断し、加西市の発展のために進めています。本来ならできているはずの事業が今の実施となっただけです。

問 庁舎増築について、いまだに多くの市民から御意見をいただく状況であり、一度立ち止まり検討すべきではないのか。

要望 事業実施に当たって派生する様々な案件や課題を含めて想定し、後から問題が発生することのないよう、しっかりとした基本計画を策定していただきたい。